

平成27年度



# ふくおかしの 家計簿

## 目次

### 予算とは?何に使っているの?

- 予算って何?平成27年度の予算は? ..... 01
- 収入(歳入)と支出(歳出)の内訳は? ..... 01~02
- 市民一人あたりにすると? ..... 03
- 予算を「家計」に例えると? ..... 04
- どのような事業に使うの? ..... 05~08

### 福岡市の財政状況はどうなの?

- 借金はいくらあるの? 他の政令指定都市と比べるとどうなの? ..09
- 借金は何に使っているの? なぜ借金が増えたの? .....10
- 収入や支出はどうなってるの? .....11~12
- 福岡市の財政状況のまとめ .....12

### 福岡市の財政をどうやりくりしていくの?

- なぜ財政改革が必要なの? 行財政改革の取組みは? ..... 13~14
- うち、財政健全化の取組みは? ..... 15~16
- 平成27年度における財政健全化の取組みは? .....17~18

福岡市の財政健全化に向けた取組みを  
漫画で分かりやすく解説しています!

福岡市 行財政改革 マンガ

検索

福岡市の  
平成27年度予算  
財政状況  
財政健全化に向けた取組み  
を紹介します!

# 1 予算とは？ 何に使っているの？

〔この冊子で使われている数値は、各項目で四捨五入していることがあるため、合計などが一致しない場合があります。〕

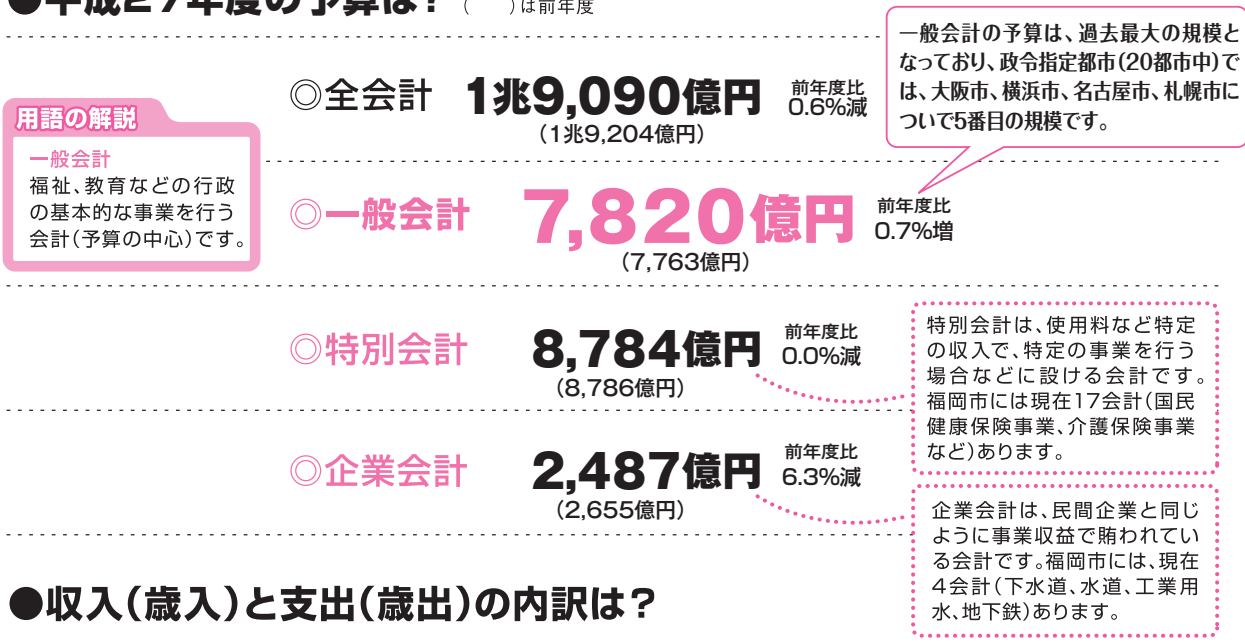
## ●予算って何？

福岡市に1年間に入ってくる収入を見積もり、その使い道を決めるのが予算です。つまり、みなさんが納めた税金などが、どのような事業にどれくらい使われるのかを示したものです。

## ●どのような予算があるの？

予算は、どの収入がどこに使われているのか、収入と支出の関係をはっきりさせるために3つの会計（一般会計、特別会計、企業会計）に区分しています。

## ●平成27年度の予算は？（ ）は前年度

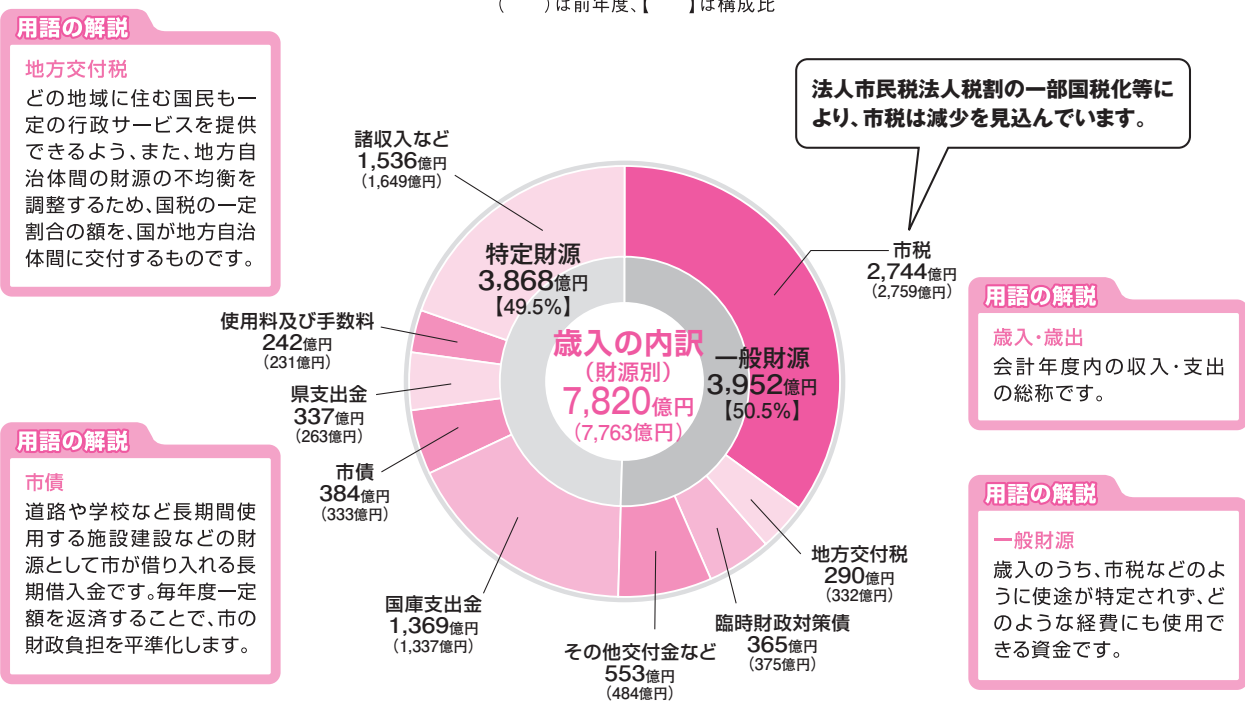


## ●収入(歳入)と支出(歳出)の内訳は？

### ①一般会計の収入(歳入)

収入には、市税のほか国や県から交付されるお金や借入金があります。

( )は前年度、【 】は構成比

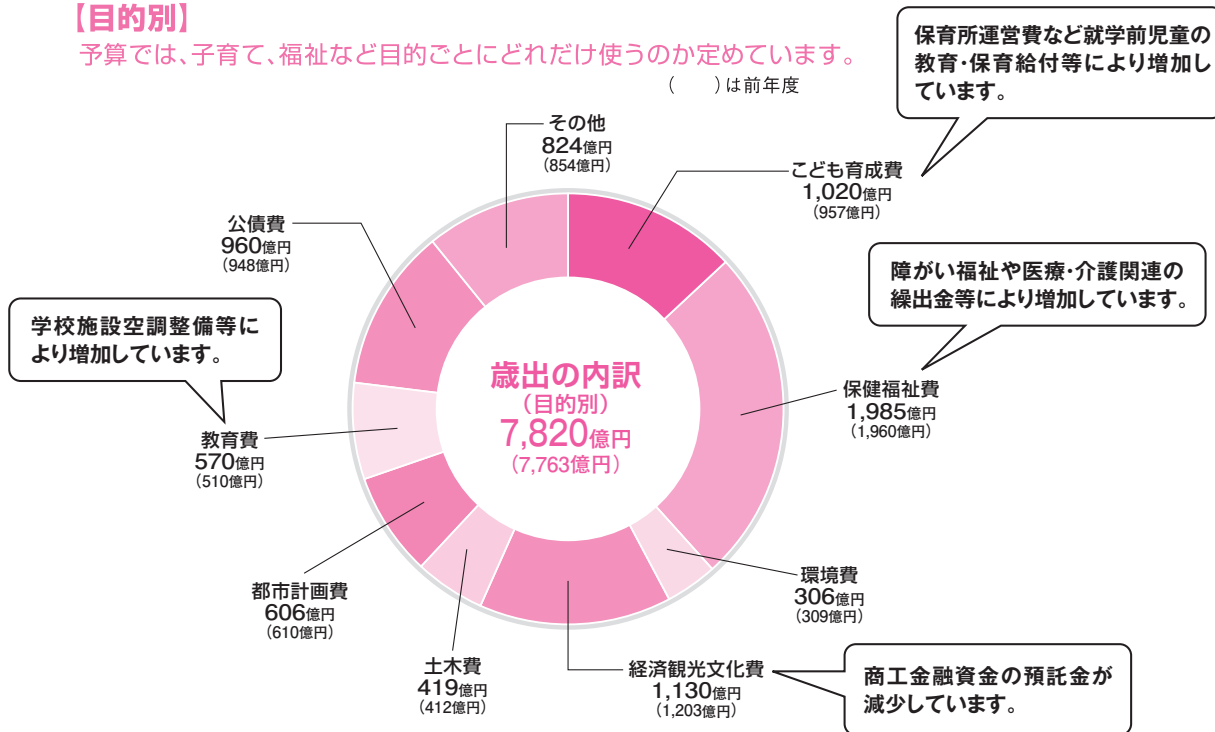


## ②一般会計の支出(歳出)

### 【目的別】

予算では、子育て、福祉など目的ごとにどれだけ使うのか定めています。

( )は前年度



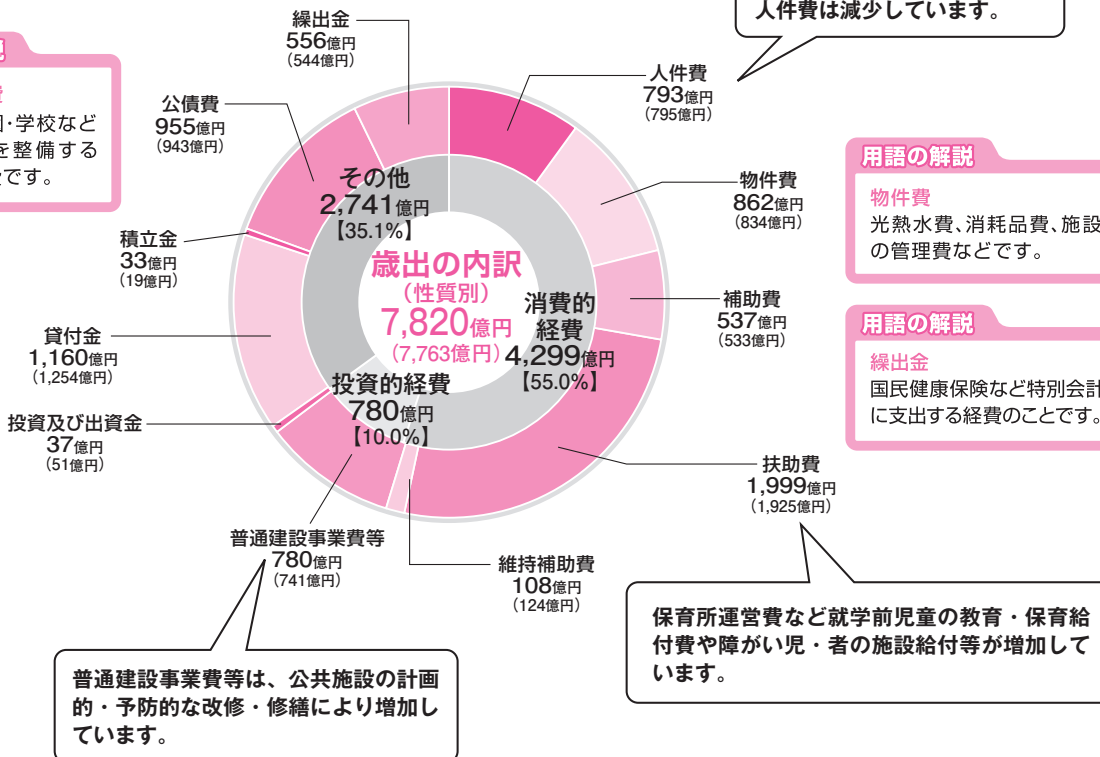
### 【性質別】

予算は、目的別だけではなく、人件費や物件費など性質による分類からどれだけ使うのを見ることができます。( )は前年度、【 】は構成比

#### 用語の解説

##### 投資的経費

道路や公園・学校など社会資本を整備するための経費です。



#### 用語の解説

##### 物件費

光熱水費、消耗品費、施設の管理費などです。













#### 用語の解説

##### 繰出金

国民健康保険など特別会計に支出する経費のことです。

## ●市民一人あたりにすると？

一般会計の予算を市民一人あたりに換算すると約53万円となり、市民生活の向上や地域経済の活性化などいろいろな施策に取り組んでいます。

	平成27年度予算			
	億円	円	市民1人あたりの予算	
 保健・医療・福祉に <b>1,999</b>	<b>134,503</b>	(25.6%)	高齢者も障がい者も誰もが住みやすいまちづくりを進めます。	
 地域経済の発展に <b>1,187</b>	<b>79,835</b>	(15.2%)		
 こどもの育成に <b>1,023</b>	<b>68,797</b>	(13.1%)	新たな保育需要への対応など、健やかな子どもの育成に積極的に取り組みます。	
 道路・住宅・計画的なまちづくりに <b>897</b>	<b>60,353</b>	(11.5%)		
 学校や教育に <b>638</b>	<b>42,922</b>	(8.1%)		
 行政の運営に <b>560</b>	<b>37,666</b>	(7.2%)		
 災害に強いまちに <b>422</b>	<b>28,413</b>	(5.4%)		
 清潔なまちに <b>309</b>	<b>20,792</b>	(3.9%)		
 地下鉄・水道事業の支援に <b>282</b>	<b>18,972</b>	(3.6%)	地域コミュニティの活性化など、支え合いとつながりのあるまちづくりに取り組みます。	
 地域活動・文化・スポーツに <b>240</b>	<b>16,133</b>	(3.1%)		
 公園整備や緑の保全に <b>153</b>	<b>10,288</b>	(1.9%)		
 新鮮で安全な食料の提供に <b>110</b>	<b>7,426</b>	(1.4%)	市民一人あたりの予算53万円は、20政令指定都市中、3番目の多さです。	
合計	<b>7,820</b>	<b>526,100</b>	(100.0%)	

※平成26年12月末現在の人口(148万6,314人)で割っています。

※( )内は、構成比を示しています。

## ●予算を「家計」に例えると？

一般会計の予算(7,820億円)を年間の収支が500万円(1月あたり41万6,000円)の家計に置き換えて説明します。

給与のうち、基本給の多くが市民の皆さんが納めた市税です。  
 諸手当のうち、地方交付税は、どの市町村も標準的なサービスを受けられるよう地域間格差を解消するため、国から交付されるものです。  
 また、国・県支出金は、生活保護や道路整備など市の事業の一部を国や県が一定割合を負担するものです。

### ふくおか家・1カ月の家計簿

#### 《収入》

給与	31万1,000円
うち基本給 (市税などの自主財源)	18万3,000円
諸手当 (地方交付税、国・県支出金など)	12万8,000円
銀行からの借入 (市債)	4万円
貸したお金の返済金 (貸付金元利収入)	6万5,000円
<b>計</b>	<b>41万6,000円</b>

#### 《支出》

家族の医療費 (扶助費)	10万7,000円
ローンの返済 (公債費)	5万円
食費 (人件費)	4万2,000円
光熱費や通信費など (物件費)	4万8,000円
家・車・電化製品の修理・買い換え (維持修理費、普通建設事業費)	4万7,000円
家族への仕送り (繰出金、補助費)	5万8,000円
友人などへ貸すお金 (貸付金)	6万4,000円
<b>計</b>	<b>41万6,000円</b>

義務的経費

ローンを5万円返済する一方、  
 新たな借入は4万円に抑えました。  
 借金残高を減らす努力をしています。

家族の医療費(生活保護費などの扶助費)、  
 ローンの返済(公債費)、食費(人件費)の3つは、  
 「義務的経費」と呼ばれています。

これが多いのは、一般家庭のエンゲル係数(家計における食費の占める割合)が高いことと同じで、家計にあまり余裕がないことを意味します。ちなみに、福岡市の歳出総額に占める義務的経費の割合は、47.9%となっており、政令市平均の51.9%と比べると、やや低い状態です。

## ●どのような事業に使うの？

福岡市の「住みやすさ」に磨きをかけて市民生活の質を高め、質の高い生活が人と経済活動と呼び込み、都市の成長を実現させ、都市の活力によりさらに生活の質が高まるという好循環を創っていくために、平成27年度は、「元気で住みやすい」このまちを次のステージへと飛躍させるため、以下の事業等を実施します。

# 都市の成長の果実を生活の質の向上へ

## 子育て・教育環境の充実

### 子ども医療費助成

379,269万円

子どもの健やかな成長を願い、安心して医療機関で受診できるよう、通院は小学校就学前まで、入院は小学校6年生までの保険診療に係る医療費の自己負担相当額を助成します。

また、入院は平成28年1月診療分から対象を中学校3年生までに拡大して実施します。

入院	小学校6年生まで
通院	小学校就学前まで
↓	
入院	中学校3年生まで
通院	小学校就学前まで



### 小・中学校への空調設備の整備

2,601万円

夏季における児童生徒の健康を維持し、快適な学習環境を整えるため、全小・中学校の普通教室に空調設備を年次的に整備します。(全校整備に向けた事業手法の検討と事業者選定準備)



### 新たな保育需要への対応

361,895万円

新たな保育需要に対応するため、保育所の新設や、既存施設の増改築のほか、小規模保育事業の実施など多様な手法により1,400人分の整備を進めます。



(写真:小規模保育事業所の子どもたち)

## 高齢者のくらし支援

### 高齢乗車券交付事業

139,642万円

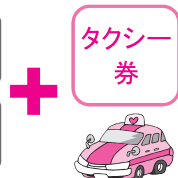
高齢者の地域での生活を支援していくため、高齢者乗車券の券種にタクシー券を加えます。あわせて、高齢者乗車券制度の見直しも含め、高齢者等の移動支援策のあり方を検討します。

福岡市交通用  
福祉ICカード

今宿姪浜線乗合  
マイクロバス回数乗車券

福岡市営渡船  
乗船引換券

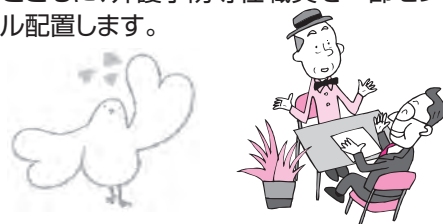
板屋脇山線乗合  
タクシー回数乗車券



### いきいきセンターふくおかの体制強化

153,929万円

高齢者の相談窓口である「いきいきセンターふくおか」を平成27年度より増設し、土曜日の開設を開始するとともに、介護予防専任職員を一部センターにモデル配置します。

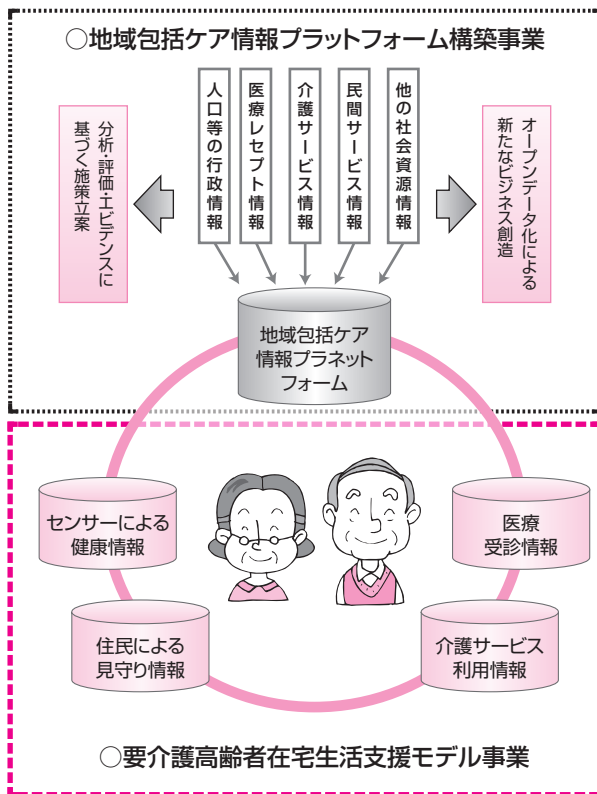




## ICTを活用した取組み

### ICT活用による要介護高齢者在宅生活支援モデル事業 1,354万円

ICTを活用し、単身高齢者等の見守りに必要な情報の収集・活用など、要介護高齢者の在宅生活支援のためのモデル事業を実施します。



## 安全・安心で、人にやさしいまちづくり

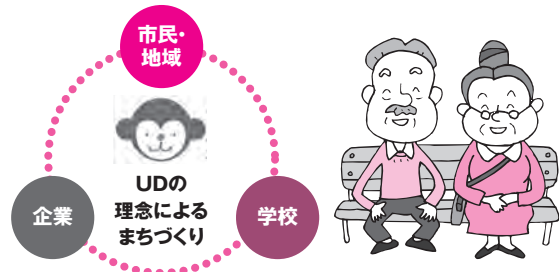
### みんながやさしい、みんなにやさしい区役所づくり 572万円

区役所の全課に、おもてなしの心と介助技術を身につけた、サービス介助士の資格を持つ職員を配置するとともに、各課で介助知識や技術の普及・継承に取り組みます。



### 「ユニバーサル都市・福岡」の推進 2,150万円

ユニバーサルデザインの普及啓発や、都心部へのベンチ設置を促進するなど、市民・地域、企業等と共働したユニバーサルデザインのまちづくりを推進する。



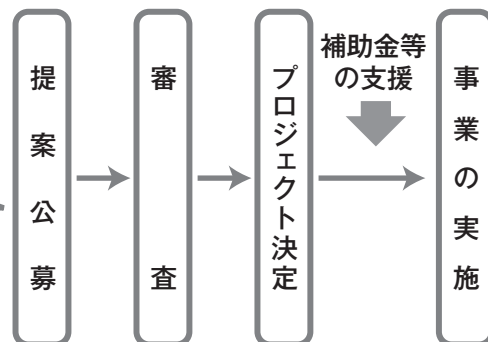
## コミュニティづくりの応援

### 農山漁村地域などの市街化調整区域の活性化 1,000万円

農山漁村地域など市街化調整区域の活性化を図るため、地域主体の取組みを支援するとともに、民間企業等からの提案公募による活性化事業の検討・実施を行います。

- (想定される提案事業)
- 耕作放棄地を活用した体験農園事業
  - 憩いの場を提供するコミュニティカフェ事業
  - 地域特産品の企画・販売事業 等

### 事業提案公募による活性化プロジェクト



# 特区を活かした次のステージの都市づくり

## スタートアップしやすい街

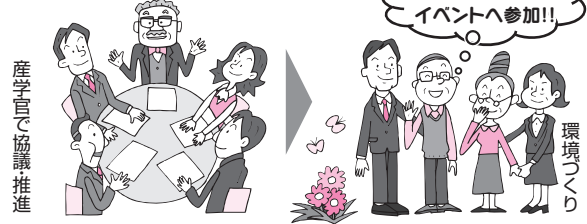
### スタートアップカフェの運営及び機能強化 6,825万円

創業から人材確保までの支援を行う拠点であり、スタートアップの裾野を広げる「スタートアップカフェ」を平成26年10月に設置。新たに相談機能強化や人材マッチングなどを実施します。



### アクティブシニアの創業・就業支援 1,113万円

高齢者の創業・就業に関するニーズ調査やセミナーを行うとともに、産学官連携の推進組織を設置し、高齢者の意向や特性を踏まえた創業・就業支援を実施します。



## がんばる地場企業を応援する街

### 中小企業・スタートアップ企業マッチング事業 2,260万円

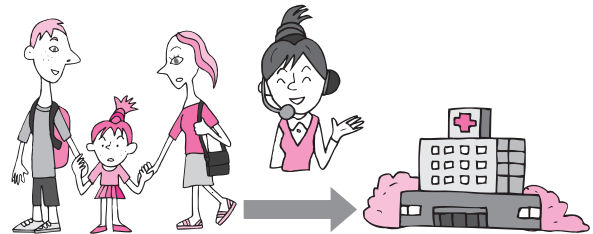
既存の中小企業とスタートアップ企業とのシンポジウム及びマッチング交流会（「フクオカ・スタートアップ・セレクション」）を福岡市内で開催し、地場中小企業の成長・発展につなげていきます。



## 外国人も暮らしやすい街

### 医療の国際化に関する事業 1,459万円

外国人向けの医療相談対応コールセンターの設置や、高い技術を持つ外国医師の医療技術を医療機関に広めることなどにより、日本人だけでなく外国人にとっても暮らしやすい環境を作ります。



## 新しいものやサービスが生まれる街

### 水素リーダー都市プロジェクト 23,540万円

下水バイオガスによる世界初の水素ステーションを核とした先進的なプロジェクトへのチャレンジや、燃料電池自動車（FCV）の導入推進等により産業化を促進します。



### 二枚貝完全養殖チャレンジ事業 720万円

アサリの陸上完全養殖の可能性について調査・研究を行い、水産業の成長を目指します。





# さらなる成長を見据えた機能・供給力の向上

## 都心部のまちづくり

### 都市再生の推進

4,829万円

建築物の更新期などを捉えた民間開発の適正誘導や、公共用地等の活用検討など、官民一体となった都心部の機能強化と魅力づくりを推進します。



## ウォーターフロントの機能強化(ウォーターフロントネクスト)

### 中央ふ頭クルーズセンター供用開始

33,534万円

クルーズの旅をより快適にするクルーズセンターを5月に供用開始します。クルーズ船寄港日以外は市民も利用できる多目的な施設で、引き続き施設周辺の整備も進めます。



### ウォーターフロント再整備の推進

1,287万円

市民をはじめ国内外の方々に親しまれる魅力的な都心部ウォーターフロントづくりに取り組むため、ウォーターフロント地区再整備計画の策定や分かりやすい広報啓発を行います。

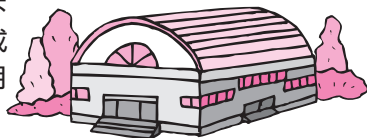


## 身近な公共施設の機能更新・充実

### 総合体育館整備

1,095万円

市民がスポーツ・レクリエーション活動に親しむことができ、大規模スポーツ大会も開催できる新たな体育館を、アイランドシティに整備します。(平成30年12月開館予定)



### 美術館リニューアル事業

5,611万円

PFI法に基づき、施設の設計、改修工事、維持管理、運営等を行う事業者の募集及び選定を行います。また、改修工事中の事務所仮移転先として、旧舞鶴中学校南校舎を事務所に改修する工事を行います。



## 災害に強いまちづくり

### 救急需要への対応、救急高度化の推進

21,989万円

都心部の救急需要に対応するため、新たに消防本部に救急隊を配置します。

また、救急高度化を推進するため、継続的な救急救命士養成や高規格救急車の計画的更新整備等を行います。



高規格救急車



救急救命士の養成